

宮崎牛

3

Miyazaki Gyu

2024

No.94

<http://www.miyazakiken-chikusan.jp/>



～「おいしき日本一」の宮崎牛を米国へ～



ニューヨークの日本食レストラン「Mt.Fuji」に宮崎牛指定店認定証を授与しました。
写真は左から、宮崎県河野知事、Mt.Fuji 多田社長、経済連平島副会長、(株)ミヤチク有馬社長

contents

米国での宮崎牛PR！	From 宮崎県 …… 1
5年ぶりの宮崎開催！大相撲宮崎場所	From 経済連 …… 3
一般社団法人宮崎県家畜改良事業団設立50周年記念式典を開催	From 事業団 …… 4
令和6年新春和牛懇談会開催	From 全和県支部 …… 5
食育に関する授業「モーモー教室」	From 経済連 …… 7
モーモーふれあい体験会～2023～を開催しました	From 畜産協会 …… 8
みやざき焼肉フェスタ2023を開催しました！	From 経済連 …… 9
広島東洋カープの選手へ宮崎牛を贈呈しました！	From 経済連 …… 9
4月は特別防疫月間です	From 宮崎県 …… 10
肉用繁殖牛・栄養管理のポイント	From 宮崎県 …… 11
新規種雄牛紹介	From 事業団 …… 13
種雄牛現場後代検定枝肉成績判明	From 事業団 …… 14

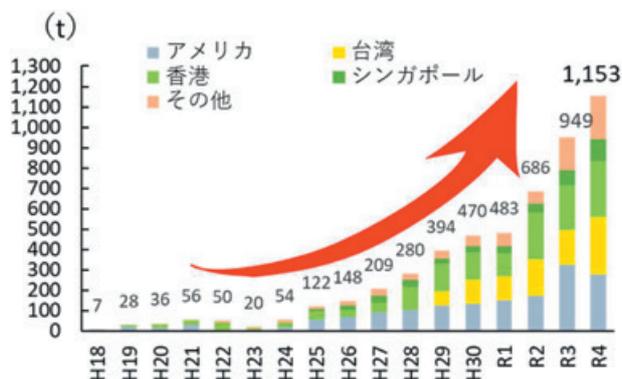
米国での宮崎牛PR!

米国における宮崎牛の認知度向上や輸出拡大を目的に、宮崎県はJA 宮崎経済連や(株)ミヤチクと一体となってトップセールスを行いました。

宮崎県産牛肉輸出量の推移について

県産牛肉の輸出は平成2年度に始まり、BSEや口蹄疫発生により一時的に落ち込みましたが、平成24年以降増加しており、令和4年度は過去最高の1,153トンとなりました。

輸出先としては、台湾、アメリカ、香港が多く、更なる輸出拡大に向け、JAグループと連携して宮崎牛プロモーションを展開しております。



知事の米国訪問

河野知事は令和6年1月21日(日)から1月26日(金)に米国を訪問し、県産品の輸出強化に向けて現地の流通業者や飲食店関係者に宮崎牛や焼酎などをPRしたほか、県人会や日本文化の普及に取り組む団体「日米文化会館」と意見交換を行いました。

現地時間の令和6年1月22日(月)の午後には、ニューヨーク市内にある日本食レストラン「Mt. Fuji (マウントフジ)」でJA 宮崎経済連、(株)ミヤチクとともに宮崎牛のトップセールスを行いました。

米国での宮崎牛レセプション

現地のシェフやインフルエンサーなどを招待して、総勢115名の参加となったレセプションでは、招待客に加え、現地流通業者も同席しており、今後の取引につながる商談も積極的に行われていました。



宮崎牛プレゼンテーション

河野知事が登壇し、宮崎牛の定義や第12回全共での功績、米国における輸出拡大の取組等についてプレゼンテーションを行いました。



宮崎牛指定店認定証授与式

JA 宮崎経済連平島副会長より「Mt.Fuji (マウントフジ)」の多田社長へ宮崎牛指定店認定証が授与されました。



宮崎牛のカットングセミナー

米国ではサーロインなどの高級部位の需要が高いことから、高級部位以外の需要の掘り起こしを目的に、(株)ミヤチクの谷口料理長が肩ロースのカットングのデモンストレーションやカットした部位を使った料理の提案などを行いました。

また、実演後には宮崎牛の料理を囲み、各テーブルで飲食店関係者らと意見交換を行いました。



これからも、海外のより多くの皆様に「おいしさ日本一の宮崎牛」を知っていただき、食べていただけるよう積極的にPRしてまいります！

5年ぶりの宮崎開催！ 大相撲宮崎場所



大相撲地方巡業の「大相撲宮崎場所」が令和5年12月5日、5年ぶりに宮崎市で開催されました。

本場所にて宮崎牛の贈呈を行っているJA宮崎経済連・より良き宮崎牛づくり対策協議会は、大相撲宮崎場所の「特別協賛」として大会の成功に貢献しました。2大関をはじめ約120名の力士らが参加した宮崎場所には、約2,800名の観客が詰めかけ、満員御礼の垂れ幕も下がり大盛況となりました。

関取らの迫力ある朝稽古や取組、禁じ手をコント仕立てで紹介する「初切」などが行われ、来場者は力士と記念写真を撮ったり、サインをもらったりして交流を楽しむ様子が見られました。

会場外では、より良き宮崎牛づくり対策協議会より相撲協会関係者・力士へ宮崎牛のふるまいを行いました。宮崎牛を堪能していただくとともに、宮崎牛のおいしさ・4大会連続内閣総理大臣賞受賞をPRしました。

令和6年も、JA宮崎経済連・より良き宮崎牛づくり対策協議会は大相撲を通して宮崎牛のさらなる認知度向上・消費拡大につながる活動を行う予定です。



一般社団法人宮崎県家畜改良事業団 設立50周年記念式典を開催

去る令和5年11月2日、一般社団法人宮崎県家畜改良事業団設立50周年記念式典が宮崎観光ホテルにおいて開催され、県内の和牛改良に携わる県、農協、畜連をはじめ種雄牛生産者、畜産関係団体から約220名の出席をいただきました。

公務多忙の中、記念式典に出席いただいた宮崎県知事 河野 俊嗣 様からお祝いのお言葉をいただきました。

祝辞に続いて、これまで和牛改良に尽力いただいた功労種雄牛生産者、功労役員、功労肉用牛部会委員の方々に対し、当事業団 坂下 栄次 理事長より感謝状と記念品を贈呈致しました。

また、「宮崎牛の東京食肉市場における現状について～出荷実績等のブランド比較と考察～」と題して東京食肉市場株式会社専務取締役の倉林 康樹 様に記念講演をいただき、東京食肉市場における和牛価格の現状や、関東地域主要銘柄の販売実績との比較から見た宮崎牛の評価について説明されました。

その中で、これからの宮崎牛の「食品」としての「品質」を追求して行くうえで「味」「美味しさ」に影響する「肉（タンパク質）の味」と「脂肪の味」そのバランスによって醸しだされる「牛肉の味」ということの大切さや、脂肪の質と調理法による「食」への影響について、更には銘柄普及の観点から今後の課題として、海外展開とともに関東への事業展開（出荷頭数増）に取り組むことも重要との見解を示されました。

今後も当事業団としましては、種雄牛造成や凍結精液の安定供給を行い、宮崎牛の更なる発展のため関係者一丸となって取り組んでいきたいと考えております。



令和6年新春和牛懇談会開催

去る令和6年1月5日、公益社団法人全国和牛登録協会宮崎県支部主催の令和6年新春和牛懇談会を宮崎観光ホテルにて開催しました。県内の和牛改良に携わる支所（畜連・農協）や畜産関係団体及び和牛改良組合の代表の方々など約60名が出席しました。

開会に先立ち、能登半島地震で被災されお亡くなりになったの方々のご冥福を祈り、出席者一同黙とうを捧げました。

はじめに、公務多忙の折ご臨席賜りました宮崎県知事 河野 俊嗣 様より「昨年は肥料や飼料価格の高騰、枝肉や子牛価格の低迷等により肉用牛振興は非常に厳しい年であった。農家の方々は先の見えない中、物価高や子牛価格の低迷を非常に不安に思われていると思う。宮崎牛は国内外で高く評価されており、更に未来につなぐために北海道全共で再び宮崎牛が輝くこと、そして宮崎牛が輝くだけでなく我々が先頭を切ってより良い肉用牛を作っていくことで全体的な底上げを図っていくことが重要となる。トップランナーという思いのもと全国に誇る更なるより良い牛づくりを進めていきましょう。」と挨拶をいただきました。



来賓挨拶に続き、公益社団法人全国和牛登録協会業務部長 勝田 智博 氏より「魅力発信 新しい力でつなぐ 和牛の未来」と題して講演をいただき以下の話をされました。

現在流通している枝肉のA5等級の割合は66.5%まで増加しており、等級による差別化が難しく、A5等級以外の牛肉を入手しづらくなり、生産と需要のミスマッチが起きている。全国の枝肉格付け成績の平均BMS No.は年々上昇し、令和5年の9月時点では8.7となっている。加えて直接検定牛の脂肪交雑の期待育種価の推移を見ても年々上昇していることから、10年先まで脂肪交雑の向上が続くことはほぼ確実となっている。このまま脂肪交雑の改良が続くと、粗脂肪含量が増加することによって、たんぱく質に含まれるうま味成分の関連物質が減少し和牛肉らしさを損なう恐れがある。同じBMS No.の枝肉でも小ザシのものは粗ザシのものと比較して、ロース芯内の粗脂肪含量が少ない傾向にあり、今後は脂肪の粒子の大きさにも着目した改良が必要である。その後、脂肪の質についての宮崎県の現状が示され、令和4年10月までに収集されたデータ数は22,359頭であり、直近では年間約11,000頭の測定を行う体制が構築されている。年次毎のMUFA予測値の平均は2014年から2022年にかけて低下し、令和3年から令和5年までの宮崎県畜産共進会ではMUFA予測値が極端に低い牛も見られた。MUFAの値は枝肉6形質と同様に遺伝的改良

を行うことができ、種雄牛によって能力にはばらつきがあることが分かってきているため、脂肪交雑の能力だけでなく、脂肪の質にも着目した交配が必要である。また、農家の効果が比較的大きく、農家別の平均値を並べると最大7%程度差があり、同一種雄牛産子の出荷割合が同程度の農家を比較しても差が見られ、脂肪の質をよくする飼養管理の秘訣があることが考えられる。今後より一層脂肪の質の価値観を定着させるために、技術員が種雄牛の能力を把握



し、繁殖農家に伝え、肥育農家へ脂肪の質の測定値をフィードバックすることや共進会の序列に脂肪の質を反映していく必要があり、美味しさにこだわった和牛の魅力を発信し明るい未来へつなげまじょうと話されました。

最後に、本日出席いただいた支所の代表の方々に登壇いただき「2024年新春に思うこと」をテーマに県共や全共に向けて戦う覚悟や地域の改良の在り方、宮崎牛のPR活動などについてそれぞれの熱い思いを語っていただきました。その後、宮崎県支部 小西 啓介 改良企画課長より第13回全共の最終比較審査が令和9年8月26日から30日に決定したことや出品区分や出品牛造成スケジュールを示しながら、出品条件に父牛の生年月日が加わる等、前回よりも選定が厳しくなることや前回大会から会期が40日程度早まること、令和6年11月から肉牛の部の授精が始まることなどを説明し、今年は重要な年であることを話していただきました。

全共日本一への道のりを見据えた対策を進めていくために、各地域の代表者がそれぞれ熱い思いを出し合い、令和6年から本格的に全共対策を講じる上でチーム宮崎の奮起を促す重要な懇談会となりました。



挑もう自分超え 究めよう和牛道 掴め日本一



食育に関する授業「モーモー教室」



▲熱心に部位を見比べる児童ら（高千穂町立岩戸小学校にて）

より良き宮崎牛づくり対策協議会では、小学生児童を対象に、「モーモー教室」を行っています。

この取組は、食の安全・安心のPR や地産地消の促進、地元生産物への理解を深めてもらうために、毎年実施しているものです。令和5年度は県内14校の小学校で実施し、多くの子どもたちが宮崎牛についての学習を行いました。

授業では、まず経済連職員が宮崎牛の定義や、生産から販売までの流れを説明し、児童からの疑問に質問コーナーで答えます。その後、実際に宮崎牛の部位による食べ比べで霜降り（脂）や味・硬さの違いなどを一緒に考えてもらいます。昨年の全国和牛能力共進会において宮崎県が4大会連続内閣総理大臣賞を受賞したことを伝えると、子どもたちが宮崎県民として誇らしく感じている様子が見られました。

お肉の食べ比べは“宮崎牛の部位”の違いを感じてもらうため、「肩ロース」と「モモ」を用いて実施しています。児童らはサシや味などについて沢山意見を出し合ってくれて違いを感じてくれたようでした。より良き宮崎牛づくり対策協議会では今後も、多くの児童に地元の生産者の努力・宮崎牛の素晴らしさを伝えていきます。



▲匂いで部位ごとの違いを見極め、実際に食べて味の違いを確かめる児童ら（新富町立上新田小学校にて）

モーモーふれあい体験会～2023～を開催しました

宮崎県畜産協会は、「消費者の畜産への知識や関心を深め、県産食肉の消費拡大」を目的に、12月2日(土)、肉用牛に関する食育体験会を宮崎県立高鍋農業高校で開催しました。

一般公募した小学生とその保護者を対象に、畜産業の将来を担う農業高校生と、地域で活躍する女性畜産農家が先生となり、以下のとおり肉用牛の体験交流会を行いました。



1 限目 牛さんのはなし ～学ぶ～



牛の種類、一生、歯と舌、4つの胃、うんち、和牛オリンピック(全共)などについて、3人の女性畜産農家が体験などを交えながら分かりやすく説明しました。また、高校生からは忘れてはならない口蹄疫と防疫対策について説明し、子どもだけでなく保護者も熱心に話を聞いていました。

2 限目 ふれあい体験 ～感じる～



高校生から詳しい説明を受けながら、「牛の絵を書く」、「ふれる」、「ブラッシングをする」、「心音を聞く」、「エサをあげる」という体験をしました。小学生は1時間目に教わった歯の観察をするなど、大変意欲的に取り組み、保護者も高校生や女性畜産農家に質問する姿が多く見られました。

3 限目 いただきます ～感謝する～



体験の締めくくりとして、高校生達が丹精込めて肥育し、高校3年生が手作りした高農牛ハンバーグのお弁当を、命に感謝しながら美味しくいただきました。



地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。

みやざき焼肉フェスタ2023を開催しました!



11月3日(金・祝)~4日(土)にイオンモール宮崎北側駐車場で、「みやざき焼肉フェスタ2023」を開催しました。宮崎牛の全国和牛能力共進会4大会連続内閣総理大臣賞受賞に加え、宮崎ブランドポークが10周年を迎えたことを記念し、生産者・宮崎県民への感謝還元を目的に開催されました。当日は、来場者がそれぞれテーブルでお肉を焼くバーベキュースタイルで実施。焼肉セット(宮崎牛・宮崎ブランドポーク・鶏もも肉・おにぎり・焼野菜)は2人分が2,000円(税込)で販売され、事前予約分は完売となりました。

イベント当日は焼肉セットの販売に加え、JA宮崎経済連グループ協同会社やキッチンカーの出店、ステージイベントやハローキティグリーティングなどを実施し、多くの来場者に楽しんでいただきました。これからも、宮崎の畜産を通じて宮崎県に活気をもたらししていきたいと思えます。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

イベント当日は焼肉セットの販売に加え、JA宮崎経済連グループ協同会社やキッチンカーの出店、ステージイベントやハローキティグリーティングなどを実施し、多くの来場者に楽しんでいただきました。これからも、宮崎の畜産を通じて宮崎県に活気をもたらししていきたいと思えます。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



▲焼肉エリア



▲焼肉を楽しむ来場者



▲当日販売された焼肉セット

広島東洋カープの選手へ宮崎牛を贈呈しました!



▲宮崎牛を贈呈するJA宮崎経済連 國府智彦課長(左)とそれを受け取る選手会長の堂林翔太選手(右)

広島東洋カープ春季日南キャンプが令和6年2月1日(木)~27日(火)まで天福球場で行われました。初日となる2月1日には、「市民歓迎の集い」が実施され、JA宮崎経済連より宮崎牛60kgが選手へ贈呈されました。新井貴浩監督率いる2年目のペナント奪還を狙う2024年シーズンに向け、日本一の宮崎牛パワーでさらなる好成績を収められることを期待します。

4月は特別防疫月間です

宮崎県では、平成22年の口蹄疫が発生した4月を「特別防疫月間」と位置づけ、防疫体制の再確認を図る機会としています。

韓国をはじめ、東アジアの広い範囲で口蹄疫が継続的に発生しています。今般、人や物の動きが活発になっていることから、県内へのウイルスの侵入リスクがさらに高まっています。

農家の皆様は、いま一度、**飼養衛生管理基準を再確認**し、畜舎周辺の消毒など**日頃からの農場防疫**を徹底していただきますようお願いします。

宮崎空港での水際防疫キャンペーンの様子



◎飼養衛生管理基準の遵守を徹底しましょう

○衛生管理区域への病原体の持ち込みの禁止

- ・不必要に人を立ち入らせない。
- ・農場に持ち込む物品、車両を消毒する。
- ・畜舎ごとに専用の長靴を用意する。
- ・立入者の記録をつけ、保管する。
- ・定期的に畜舎の清掃・消毒を行う。



車両消毒



専用長靴



牛舎消毒

○早期発見・早期通報

飼養牛に異常(発熱、食欲不振、よだれを流す、口・蹄・乳房の水ぶくれ、乳量低下等)が認められたら、かかりつけの獣医師もしくは最寄りの家畜保健衛生所へ連絡する。



泡のようなよだれ



舌の水ほう



口腔内のびらん

◎定期的に石灰をまき直しましょう

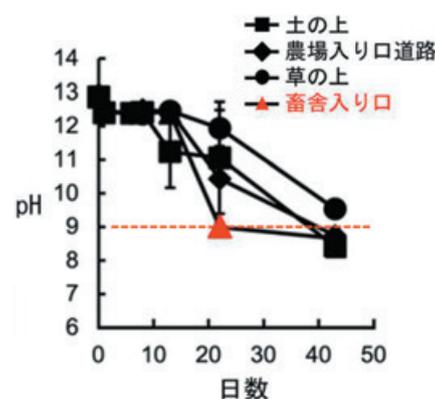
○石灰は約2週間で消毒効果が弱まります。

口蹄疫ウイルスは、pH6.0～9.0以下では死滅しません。

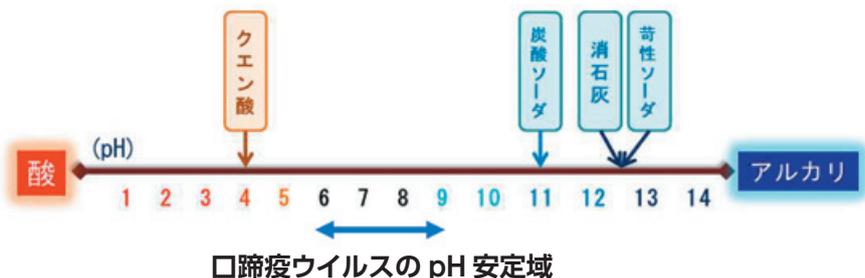
2週間おきに石灰のまき直しを行いましょう。

特に、畜舎入り口など人通りが多い場所には重点的に散布しましょう。

消石灰の時間経過によるpHの変化



(Matsuzaki et al., Nature. 2021より改変)



肉用繁殖牛・栄養管理のポイント

1 はじめに

繁殖牛は繁殖のステージの維持期、妊娠末期、授乳期において、それぞれ必要な養分要求量が違います。繁殖成績の向上のために下記のポイントに注意し、適正な栄養管理を実施することが大切です。

<適正な栄養管理のポイント>

- ① 給与の際は、定期的に計量しましょう。
- ② 飼料作物の熟期の特性を知り、適期刈り取りを行いましょ。
- ③ 飼料分析結果に基づく給与診断、給与設計を行いましょ。

2 適正な栄養管理のポイント

① 給与の際は、定期的に計量しましょう。

農家から「発情がこない牛がいるからエサをみてくれんね」など、飼料作物分析や給与診断の依頼があった際には、給与量の聞き取りを行います。しかし、実際にいつもの通りの給与量を計量すると認識している給与量と異なることがありました。

また、写真のように飼料作物を並べてみると、乾燥状態や形状により重さが変わってきますので、給与する粗飼料が変わったら、その都度、写真2のような計量器等を使って実際に計量をし、給与量を把握しましょう。



写真1



写真2

② 飼料作物の熟期の特性を知り、適期刈り取りを行いましょ。

県内は温暖な気候で、飼料作物を作付けする期間が長く、播種や収穫時期の降雨、台風等の影響を受けながら、さまざまな熟期で収穫し、給与されています。そのため、作業に天候の影響を受けにくいロールバールサイレージが主流になっています。

表1に令和5年8月から令和6年1月までに分析された県内産のイタリアンライグラス1番草(サイレージ)の分析結果を示しました。この表から分かるように、出穂前から結実期まで幅広い熟期で収穫されており、各々の熟期で成分値が違うので、飼料分析を行い、その結果に基づく給与診断、給与設計を行いましょう。

表1 県内産イタリアンライグラス1番草サイレージの成分(乾物)

熟期(例数)	水分(%)	TDN(%)	粗蛋白質(CP%)
出穂前(n=1)	34.4	68.9	11.7
出穂期(n=20)	35.6	66.0	9.0
開花期(n=9)	34.6	57.1	7.5
結実期(n=1)	20.8	46.4	5.2

③ 飼料分析結果に基づく給与診断、給与設計を行いましょう。

県内産のイタリアンライグラスサイレージの成分値を図1に示しました。横軸にCP(粗蛋白質)、縦軸にTDN(エネルギー)、出穂期から開花期のCPの標準値を赤線枠、TDNの標準値を黒線枠で示しています。TDNが低い値でも8割が標準値内となっていますが、CPは標準値を下回るものが8割程度ありました。

このように、同じ飼料作物でも栄養成分が異なります。土壌の状態や栽培管理、収穫・調製の時期、貯蔵方法など農家によって異なります。給与設計や給与診断をする場合は、飼料分析の結果を基に実施しまししょう。

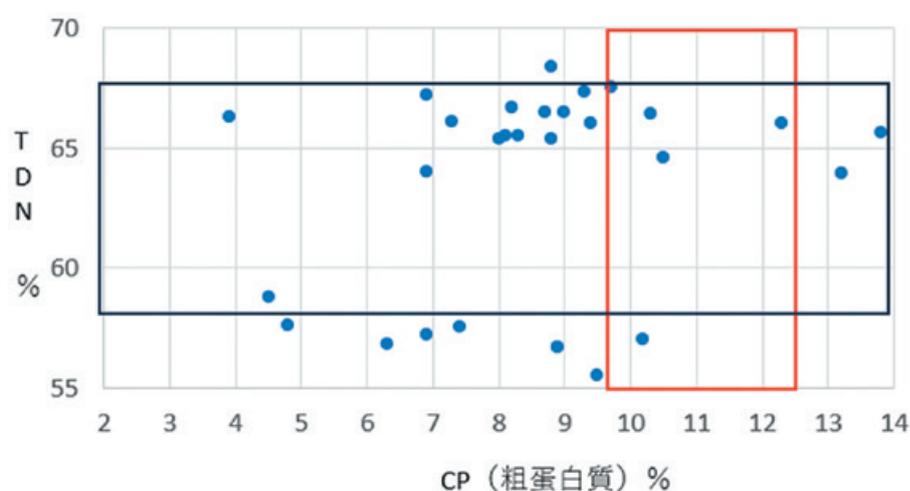


図1 イタリアンライグラスサイレージ(1番草)の分析結果

3 おわりに

適正な栄養管理のポイントとして、「①給与の際は、定期的に計量しまししょう。」「②飼料作物の熟期の特性を知り、適期刈り取りを行いましょう。」「③飼料分析結果に基づく給与診断、給与設計を行いましょう。」を行い、生産性向上に努めまししょう。

なお、給与設計・給与診断や飼料作物に関する相談は、最寄りの農業改良普及センターにお問い合わせください。

宮崎県総合農業試験場専門技術センター 藤井 真理

新規種雄牛紹介

田尻系

おくてるしげ
奥照重



- 美点／体上線、皮膚、毛質、尻幅、腹容
- 惜点／過大、後肢、肩後、外腿、上肋の張り

生年月日／令和4年1月19日
産地／五ヶ瀬町
生産者／綾 誉光 氏

測尺値 (24.4 ヶ月)
(発育評価+1.7σ)
体高／146.6cm
体長／165.4cm
胸囲／203cm
体重／606kg

美津照重	美津照	美津福	谷福土井
		きくつるみ2	照長土井
このは	いつみ	美津福	谷福土井
		よしこ6	糸秀
	奥日向	日向国	北国7の8
		はつたけ	上福
	みほ	美穂国	糸北国
		たかふく6	忠富士

試験交配

令和5年11月

気高系

きくゆりとも
菊百合友



- 美点／発育、体伸、尻、内腿、肩の厚み、皮膚、乳徴、骨味
- 惜点／肩端、肋張り、前肢、肘後、ヤヤ体上線

生年月日／令和4年2月6日
産地／えびの市
生産者／中村 友哉 氏

測尺値 (23.8 ヶ月)
(発育評価+1.2σ)
体高／144.2cm
体長／166.8cm
胸囲／200cm
体重／616kg

百合白清2	百合茂	平茂勝	第20平茂
		しらゆり	神高福
さやか	みどり	白清85の3	飛驒白清
		みすず	平茂勝
	秀菊安	安平	安福(宮崎)
		きくの233	隆美
	なな	美穂国	糸北国
		しづかひめ	忠富士

試験交配

令和5年12月

気高系

うめゆり
梅百合



- 美点／体積、体伸、体上線、腹容、尻、内腿、皮膚のゆとり、乳頭の大きさ
- 惜点／緊実性、肩後、上肋、ヤヤ骨太

生年月日／令和4年4月21日
産地／都城市
生産者／坂下 浩二 氏

測尺値 (21.3 ヶ月)
(発育評価+0.3σ)
体高／138.8cm
体長／161.0cm
胸囲／195cm
体重／612kg

梅華国	梅福6	福桜(宮崎)	隆桜
		きよこ	糸晴(佐賀)
やまぐちももえ	きく	福之国	北国7の8
		ふくこ	茂福(宮崎)
	百合白清2	百合茂	平茂勝
		みどり	白清85の3
	ももえり	秀菊良	安平
		うめかず5	福之国

試験交配

令和6年1月

種雄牛現場後代検定枝肉成績判明

気高系 ^{ゆき しら きよ} 倅白清 黒15632 (81.9)



生年月日/平成31年3月11日
産地/綾町
生産者/池田 竜則 氏

測尺値 (58.5 ヶ月)
体高/150.6cm
体長/182.4cm
胸囲/215cm
体重/776kg

百合白清2	百合茂	平茂勝	第20平茂
		しらゆり	神高福
ゆき	みどり	白清85の3	飛驒白清
		みすず	平茂勝
	こゆき3	糸北国	北国7の8
		みまつ	安平
		福之国	北国7の8
こゆき	福桜 (宮崎)		

●改良期待点/発育、尻幅、乳徴、骨味、腹容 ●交配注意点/肢勢、上肩の付着、肩端、肘後、下臍部

現場後代検定成績 (R5.12.14 判明)	頭数	枝肉重量	ローズ芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	推定歩留	BMS	上物率(A-4, 5)
	去勢 12 頭	532.7kg	78.4cm ²	9.5cm	2.5cm	77.0%	10.4	100%

倅白清 × 秀菊安 × 勝平正 (BMS No.12)



倅白清 × 耕富士 × 梅福6 (BMS No.11)



倅白清 × 満天白清 × 勝平正 (BMS No.12)



糸桜系 ^{ち ひろ} 千尋135 黒原6350 (83.2)



生年月日/令和元年6月5日
産地/日向市
生産者/児玉 育 氏

測尺値 (55.6 ヶ月)
体高/149.0cm
体長/176.6cm
胸囲/213cm
体重/767kg

義美福	福之国	北国7の8	第7糸桜
		ふみさかえ	福茂
	はなこ	安平	安福 (宮崎)
ちひろ13	秀菊安	よしこ	福桜 (宮崎)
		安平	安福 (宮崎)
	ちひろ1	きくの233	隆美
		梅福6	福桜 (宮崎)
	ひろこ43	福之国	

●改良期待点/発育、肩幅、腹容、骨味、腿、乳頭の大きさ ●交配注意点/肘後、皮膚、ヤヤ後肢、ヤヤ顎垂

現場後代検定成績 (R6.1.19 判明)	頭数	枝肉重量	ローズ芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	推定歩留	BMS	上物率(A-4, 5)
	去勢 12 頭	503.5kg	79.5cm ²	8.8cm	1.8cm	77.7%	8.7	91.7%

千尋 135 × 忠富士 × 福之国 (BMS No.12)



千尋 135 × 耕富士 × 勝平正 (BMS No.12)



千尋 135 × 秀正実 × 忠富士 (BMS No.11)



今後の予定表

登録日
子牛セリ市開催日

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
				美郷	椎葉・諸塚	東白杵		北方・北川・北浦	延岡・門川・日向										都農			えびの	多頭	高原	小林	須木・多頭				昭和の日	野尻
											宮崎	児湯	小林				都城					児湯	湯	多頭	児湯	児湯					

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
			憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日															志和地・中央	梅支部・五十市				都	高城・庄内	高崎	三股・山之口	山田・西岳	
										宮崎	小林	串間			都城	延岡	高千穂														

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
						南那珂	南郷・日向	串間・大東																	高千穂	上野・田原	高千穂・五ヶ瀬	日之影・岩戸			
											児湯	宮崎	都城					小林													

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
		北方・北川・北浦	延岡・門川・日向		東白杵			美郷	椎葉・諸塚	えびの	多頭				海の日	高原	小林	須木・多頭						宮崎	南宮崎・田野	多頭				野尻	
										串間	児湯	宮崎	都城	高千穂	延岡									宮崎	南宮崎・田野	多頭					